

～さやま花多来里の郷～

春に見られる花たち

3～5月

チゴユリ



和名の由来は、小さくて可愛らしいことから「稚児ユリ」。高さ15から30cmの多年草で、茎の先端に1cmほどの小さな白い花を一つ咲かせます。

ヤマツツジ



日本の野生ツツジの代表種で、北海道南部から九州まで、分布域が最も広いのがこのヤマツツジです。多くは朱色の花を咲かせます。

ミツバツツジ



枝先に3枚の葉をつけることからこの名がつけました。山根や岩場、雑木林などに生し、4～5月頃に紅紫色の美しい花を咲かせます。

その他、タチツボスミレ、ウワミズサクラ、モミジイチゴなども楽しめます。